



# 学校だより

令和5年 4月10日発行  
さいたま市立本太小学校

Tel 048-882-3007

<http://motobuto-e.saitama-city.ed.jp>

e-mail [motobuto-e@saitama-city.ed.jp](mailto:motobuto-e@saitama-city.ed.jp)

校長 千葉 裕 (ちば ひろし)

春のやわらかい陽ざしに包まれて、伝統ある本太小学校に着任させていただきました。校長の千葉 裕 (ちば ひろし) と申します。どうぞ宜しくお願いいたします。

先日、青少年育成本太小地区会名誉顧問の金子義人様をはじめ、学区の自治会長様方へ御挨拶に伺いました。また、PTAの鈴木会長様ともお話しをさせていただく機会に恵まれました。皆様とお話しをさせていただき、本校は保護者・地域の皆様から長年にわたり深く愛されていること、子どもたちを地域総ぐるみで大事に育てている素晴らしい学校であるということがよく分かりました。

そして、揺るぎない伝統に支えられた本太小学校の校長を拝命できたことに感謝の気持ちで一杯です。歴代の校長先生方の功績を引き継ぎ、さらに発展できますよう全力で学校経営に邁進させていただきます。

## ◆ 教育は「愛」

この言葉は、私の座右の銘であり、恩師からいただいた言葉です。「先生方は、色々な指導方法や教材研究を熱心に行いながら授業をしています。結局のところ、その先生が子どもたちを心から愛しているかどうかなんです。教育は愛です！」恩師の言葉が今でも心に響いています。

本校には70名の明るく爽やかで、情熱に溢れた教職員がいます。この教職員が丸となって、大切な896名のお子様たちに愛のある教育を展開させていただくことをお約束させていただきます。

## ◆ すべては未来社会に生きる子どもたちの幸せのために

本校の学校教育目標は「知・徳・体の調和のとれた子の育成 かしこい子、心の豊か

な子、たくましい子」です。これらの資質や能力は、生きていく上でとても重要です。

そして、子どもたちが、変化の激しい、見通しのもてない未来社会でたくましく生き抜くためには、常識や前提にとらわれることなく「ゼロからイチを生み出す力」、「グローバルな社会課題を解決する意欲」、「多様性を受容し、他者と協働する力」などの資質や能力の育成も欠かすことはできません。

それらの能力を育成するためのツールとして1人1台のタブレット端末があります。このツールは今、活用する段階から創意工夫を凝らして工夫する段階へと発展します。子どもたちが未来社会で自己実現するための資質や能力を育むため、今後、加速度的に授業の風景も変わっていきます。

## ◆ ポスト・コロナの学校生活へ

猛威をふるった新型コロナウイルスも確実に収束に向かっています。それに伴い、本校の教育活動も国や市のマニュアル等を手掛かりとしながら、少しずつコロナ禍前の姿へ戻してまいります。とは言え、3年前の姿を知らない子どもたちもいます。子どもたちに無理のないようアクセルとブレーキを使い分けながら進めさせていただきます。

## ◆ 保護者・地域の皆様とともに

子どもたちの未来を拓くためには、学校・保護者・地域の強固な連携が不可欠です。

これからも様々な機会に保護者・地域の皆様と本音で話し合いながら学校経営を進めてまいります。

校長室の扉は、開けておきます。

いつでもお気軽にお立ち寄りください。

令和5年度も変わらぬ御理解・御支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

